No. 7
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
（令和5年度　第4回）

令和5年度　第4回事業評価監視委員会　一括審議案件一覧（事業進捗等に大きな変更がない事業）

事業名 （箇所名）	実施箇所	事業期間等	総事業費 （億円） 上段： 前回 評価時 下段： 現時点	事業概要	事業を巡る 社会経済情勢等 の変化	主な事業の 進捗状況	主な事業の進捗 の見込み	コスト縮減や 代替案等 の可能性	事業の投資効率性		都道府県・政令市等 の意見	対応方針 （原案）
一般国道2号　大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄） 臨港道路 大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）	兵庫県神戸市東灘区向洋町東 ～ 兵庫県神戸市長田区西尻池町	平成28年度　事業化 平成30年度　用地着手 平成30年度　工事着手	約5,000	大阪湾岸道路は、神戸淡路鳴門自動車道の垂水JCT から関西国際空港線のりんくうJCT に至る延長約８０kmの高規格道路であり、その内、一般国道２号 大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）は、兵庫県神戸市東灘区から長田区に至る延長１４．５ｋｍの高規格道路である。 渋滞の緩和、物流の効率化、沿道環境の改善、代替路の確保を目的に整備を進めている。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。	進捗率 （事業費） 約13% 用地取得率 （面積） 約23%	事業費及び事業期間については、工事進捗状況や海上部長大橋（新港・灘浜航路部）の基本構造決定（R5.8.1）を踏まえ、コスト縮減の方策も含め精査していきます。	今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら事業を推進していきます。	【事業全体】 総便益Ｂ ：211,981億円 総費用Ｃ ：71,979億円 Ｂ／Ｃ＝2.9	【残事業】 総便益Ｂ ：8,208億円 総費用Ｃ ：4,929億円 Ｂ／Ｃ＝1.7	神戸市長 一般国道２号大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）は、大阪湾ベイエリアにおける環状道路を形成し、阪神高速3号神戸線の慢性的な渋滞の緩和や国際コンテナ戦略港湾阪神港の機能強化、関西3空港へのアクセス改善など、本市の重要施策である陸・海・空の広域交通結節機能の強化にも寄与する必要不可欠な路線です。よって、「対応方針（原案）」のとおり事業を継続し、一日も早い供用に向けてさらなる整備推進をお願いいたします。 また、事業進捗上の課題となっている事業費及び事業期間については、引き続きコスト縮減を図り地方負担の軽減に配慮いただくとともに、早期の供用開始に向けた有料道路事業の最大限活用をお願いいたします。	事業継続
一般国道43号 名神湾岸連絡線	兵庫県西宮市今津水波町 ～ 兵庫県西宮市西宮浜2丁目	令和3年度　事業化 用地・工事未着手	約1,050	一般国道43号 名神湾岸連絡線は、名神高速道路の西宮ICから阪神高速5号湾岸線の西宮浜出入口に至る延長２．７kmの高規格道路です。 渋滞の緩和、物流の効率化、沿道環境の改善、代替路の確保を目的に整備を進めている。		進捗率 （事業費） 約1% 用地取得率 （面積） 約0%	調査設計を進め、事業内容を精査していきます。				兵庫県知事 一般国道43 号名神湾岸連絡線は、大阪湾ベイエリアと名神高速道路を結び、大阪湾岸道路西伸部と一体となり高速道路ネットワークを形成する重要な高規格道路である。 阪神高速３号神戸線等の渋滞緩和や沿道環境の改善、阪神港等の物流拠点、国際化を控える神戸空港への交通アクセスの強化に資することから、事業継続の対応方針（原案）に異論はない。 事業継続にあたっては、早期完成に向け、有料道路事業の導入や必要な予算確保を図るとともに、地元関係者への事業進捗に応じた丁寧な説明に努められたい。 引き続き、大阪湾岸道路西伸部に遅れることなく、事業の更なる推進をお願いする。	